

題材名「たつの市と旧龍野市の人口密度を比べよう」

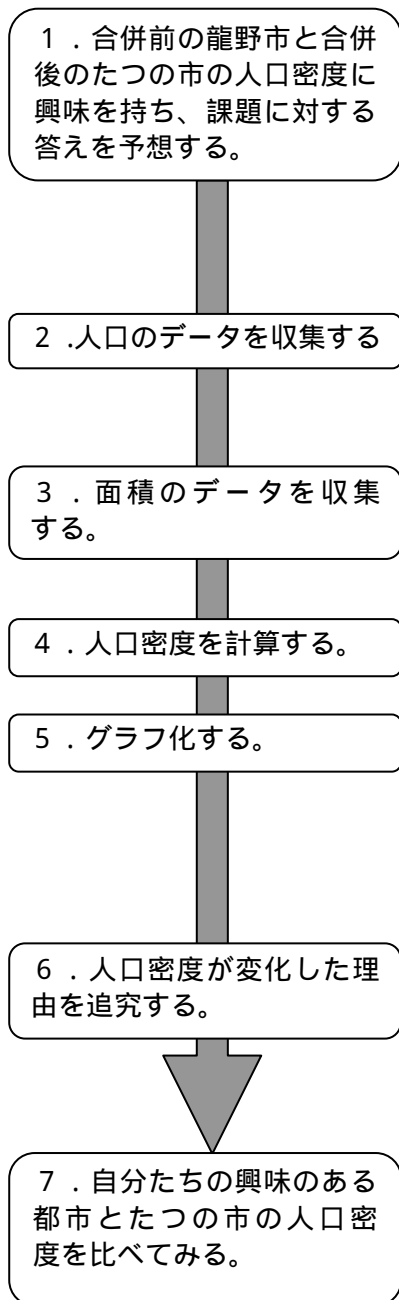
目標

- ・人口密度の求め方について理解を深め、意欲を持ってそれを用いて資料を比べようとする。
- ・必要な情報を取り出し、論理立てた説明をすることができる。

コンピュータを活用する利点

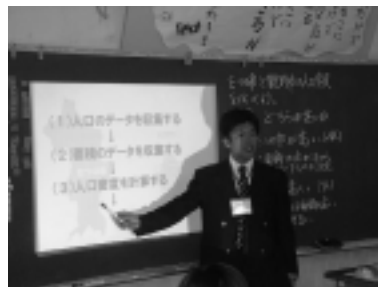
様々な情報に対して適切に対応したり、情報を活用して問題解決をする能力を育てるためにコンピュータは有効である。また、コンピュータを道具として活用し、教科で培ってきた論理的な思考力や直感力を用いる授業を展開することで、情報活用能力を高めるためのよい場にもなっていると考える。

授業の流れ



ICT 活用場面

(問題把握の場面で)
 今日の問題を把握させるために、あらかじめ、パワーポイントで、作成しておいた教材を提示する。全員が前を向いているので、表情を見て理解しているかどうか分かる。児童も、前を向いて考えやすいようである。



(データ収集の場面で)
 各班に1台ずつノートパソコンを用意し、無線LANで接続することで、普通教室でデータの収集が可能になった。また、児童が必要になそうなリンク集を作っておいて、そこから、必要なデータを選び出させた。
 (グラフ化する場面で)
 収集したデータをグラフ化し、クラス全体で共有した。プロジェクタで映し出すことで共有化が容易になった。



成果と課題

- ・合併というタイムリーな話題を取り上げたので、興味を持って学習していた。
- ・人口密度について、理解が深まった。
- ・インターネットを活用することで、新しい情報を収集することができた。
- ・どの児童も情報機器を道具として使いこなすことができていた。
- ・多くの児童が発言し、授業に参加することができた。
- ・話し合いの時間を確保するために、検索の時間をもっと短縮するべきであった。
- ・論理的に考える時間をもっと確保する方がよかった。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン8台、プロジェクタ
使用ソフト名	Internet Explorer、Excel、Power point
使用教室	普通教室